平成29年度第２回岡崎市放課後子ども総合プラン運営委員会議事録

日　　時：平成29年10月11日（火）10:00～11:27
場　　所：岡崎市役所福祉会館３階　303号室
出席委員：11名
　　石川春次（委員長）、杉浦美智江（副委員長）、武田正道、青山千恵子、平松文子、福島有里子、林幸江、後藤典子、内田美香、伊豫田守、荻野考史
欠席委員：牧野聡子
事務局等：７人（こども育成課６人、学校指導課１人）
傍 聴 者：０人

１　委員長あいさつ
２　議題
　　放課後子ども教室について
３　その他
　　事務連絡

議題　放課後子ども教室について

放課後子ども教室について事務局から資料によって説明

＜以下、各委員の意見等＞

委　員　：　現状でコーディネーターを何人くらい配置しているか。また、今後ブロック単位で配置していくなどの見込みはあるか。

事務局　：　現状は市で１人である。今後の見込みは無いが、文部科学省の資料で小学校区ごとにコーディネーターを配置している例があるように、地域の特色を持たせるためには小学校区ごとにコーディネーターを配置していくことが理想であると考えている。

委員長　：　小学校区ごとではなくても、東西南北のブロックを作ると、連携が取れて良いのではないか。小学校区ごとではバラバラになる可能性がある。

委　員　：　私の学区の放課後子ども教室を見学したが、あまりプログラムをやっている印象は無かった。ボランティアがなかなか集まらないということだが、週に１回くらいは、子どもが楽しみにするようなものがあると良いと思う。

委　員　：　岡崎市では、学習アドバイザーの配置が無いということだが、そのことで何か不具合は生じているか。また、今後入れていくような考えはあるか。

事務局　：　放課後子ども教室を平成31年度までに市内全ての学区でやっていく計画があるため、まずは量の拡大を優先している。学習アドバイザーを配置するのが理想だが、そこまで至っていないというのが現状である。

委員長　：　安心、安全な居場所が確保できていれば十分ではないかとも思うが、文部科学省が学習ということを掲げているため、今後の課題として、人材の発掘に取り組んでいただきたい。事務局としては、こどもの家における放課後子ども教室について、概ね問題なくやれているということで良いか。

事務局　：　放課後子ども教室としてプログラムや学習というのはなかなかできていないが、自由遊びという点ではできていると考える。

委　員　：　発達障害の子どもが増えており、自由遊びは良くても、学習が入ってしまうとついていけないのではないか。各学区に２人の指導員配置では、対応するのが大変だと思う。

委　員　：　子どもが放課後子ども教室で学習をしたいかというと、必ずしもそうではないと思う。やはり、放課後は自由に遊びたいという気持ちが強く、学習というのは、大人の希望ではないか。子どもたちに、どのように過ごしたいか意見を聞いて欲しい。

委員長　：　学校のカリキュラムとは異なるので、必ずしも全員が揃って同じ活動をするということはない。私は勉強をしたい、という子どもだけ集まってやるというのが良い。

委　員　：　私が自分の子どもに勉強を教えるときに、学習の仕方が時代によって異なると感じた。学習アドバイザーに、今の学校での教え方に合った学習の仕方をやってもらうというのはハードルが高いと思う。

委　員　：　確かに、算数のやり方を見ても昔と異なっている。教員ＯＢだとしても、勉強を見るのはなかなか難しいと思う。やはり、勉強は学校でやってもらい、放課後は遊ぶというのが基本ではないか。

委　員　：　学習というのが出てきたのは、恐らく学習塾に行けないような子どもの勉強時間を確保するというのがあると思う。ここでは学習する時間を確保するだけで、本格的に勉強するのなら専門機関というような区切りが必要である。また、こども部だけで考えるのではなく、ＮＰＯや地域の団体等の他機関との連携が必要だと思う。そのためにも、地域ごとにコーディネーターの必要があるのではないか。

委　員　：　学習指導は毎日継続的に見ていくことでできる。学習はやれる子どもは自分でやってしまうし、できない子は指導員が宿題を促している。創造性を育むために、施設を使って遊ぶのは良いと思うが、学習というのは難しいのではないか。

委　員　：　遅くまで家に保護者が帰らない子どもは、こどもの家で過ごすことが多い。そういった子どものことを考えて、学習というのが出ているのだろうと思う。今の時代は、近所で普通に遊べないので、安全に遊べるということが子どもの成長に必要だと思うので、そういう場所であるのが理想だと思う。

委　員　：　ある小学校で、年に一度親子で小学校に行って、地域の方に教えてもらい好きな遊びを体験するというのがあると聞いた。その小学校はとても人数が大きいが、どうやってボランティアを集めたのか聞いてみると参考になるのと思う。

委員長　：　ボランティアの呼びかけをしようとすると、小学校から声をかけていただくのが一番効果的ではないか。

委　員　：　自分はその小学校にいたが、年に１回、毎年やっていた。地域に囲碁や竹馬などで中心になる人がいて、今年は何月何日にやると決め声をかけて、沢山の人が集まっていた。そういう人の活用はできると思うが、時間の関係もあり毎週とか決まった時間にというのは難しいと思う。

委　員　：　週休２日になったときに、地域の中で竹馬などの伝承遊びを教えてもらうというのがあったが、それが残っている地域もあるのだと思う。ある程度、地域の講師のような人を小学校で抱えているようなところは、公開してもらえれば良い。ただし、小学校の教頭先生がやるというのは大変なので、やはりコーディネーターがいることが望ましい。

委員長　：　本来、遊びというのは教えるのではなく、自分で身に着けていくものだが、今の時代はそういかないため、ある程度教えないといけない。先ほど小学校からと言ったが、資料等はコーディネーターが作るが、学校の集まりがあるときに、時間をいただいて呼びかけをさせていただくというのも１つの手だと思う。

委　員　：　例えば、放課後子ども教室で何月何日に囲碁教室をやりますというのはどこかでお知らせがあるのか。

事務局　：　基本的には、こどもの家にチラシを掲示して周知してもらっている。

委　員　：　ボランティアの立場で考えると、いきなり行って子ども達が何も知らされていない状況で始めるというのは抵抗感がある。読み聞かせのボランティアであれば、事前に周知されており、本だけ持っていけばできるように環境が整えられている。受け入れ側のサポート体制がないと、ボランティアをやれないのではないか。

事務局　：　指摘のとおり、ボランティアを実際にやるに当たってどのように進めていくのか、アナウンスできていないため、今後、具体的な流れを考えていきたい。

委　員　：　活動のイメージで卓球や将棋教室があるが、地域のサークルでこどもの家を使っているところに年に１回でもお願いしていけば、既にこどもの家に関わっているところだから活動しやすいのではないか。また、私の地域ではお祭りや掃除に中学生がボランティアで来ている。中学生のボランティア参加によって、小学生との交流にもなり良いと思う。

委　員　：　学区こどもの家指導員とコーディネーターとの役割分担が重要と思う。また、資料で共助と公助で共助に向かっているというのがあったが、ボランティアに参加することで、地域でステータスが上がるような方法があればいいと思う。例えば、

消防は、地域でのステータスになる。地域で褒めてもらえるような仕組みを、こども部だけでは難しいと思うが、総代会等と作ってみてはどうか。

委員長　：　ボランティアの方が来たときに、何をやればいいか分からないということではいけない。資料で、研修やアンケートというのがあったが、組織立てて仕組みを作っていく必要がある。私がコーディネーターをやっていたときに折り紙をやってくれた人は、何もしなくても自然に子どもが興味を持って広まっていったが、事前に時期を決め、受け入れの手筈を整えていれば、もっとやっていただけると思う。

委　員　：　放課後子ども教室というのが子どものためだとしたら、子どもはどのようなことを求めているのか。資料のイメージの中で、読書というのがあったが、それが好きではない子どもはどうすればいいのか。子どもの好みは多様だ。本来は、公園でそれぞれ過ごしていたのが、安全な場所が無いという事で放課後子ども教室があると思うが、何かを用意するというのは大人の発想かもしれない。また、放課後子ども教室が、子どもの安全な遊び場なのか預かる場所なのかという点も含めて考えていく必要がある。

委員長　：　プログラムというのは、全員が一斉にというものもあるかもしれないが、基本的には参加したい子どもが自主的に参加するものであるべきだと思う。

委　員　：　放課後子ども教室に来る時間も帰る時間も自由か。

事務局　：　こどもの家で実施している放課後子ども教室については、自由に来館して暗くなる前に帰るというのが基本である。

委　員　：　こどもの家に下校先として行くという使い方もある。その場合は、保護者が迎えに来るまで帰れない。また、傾向として高学年になってくると活動的になってくるが、危ないからということで自由に遊ぶことができず行かなくなると聞いたことがある。

委員長　：　昔の経験で、始めは低学年と高学年が別で遊んでいても、時間が経って高学年がリーダーになって一緒に遊ぶようになったことがある。こういう場を広げていきたいと思う。

その他　事務連絡

次回会議（平成29年度第３回）は平成30年２月頃を予定

午前11時27分終了